



～葛飾北斎のパフォーマンスに挑む～

現代の画狂人・山口晃、大ダルマを描く！！

すみだ北斎美術館(亀沢2丁目7番2号)では、9月9日(土)から「大ダルマ制作200年記念 パフォーマー☆北斎～江戸と名古屋を駆ける～」を開催、連日多くのお客様にお越しいただき、好評を博しています。今回の展示では、葛飾北斎が江戸と名古屋で行った大ダルマを描くパフォーマンスに着目。その迫力を体感していただく展示もあり、お客様からも驚嘆の声をいただいております。

この企画展に合わせ、新しい試みにチャレンジするイベントが開催されます。

葛飾北斎が大ダルマを描いた圧倒的なパフォーマンスを、この時代に行ったらどうなるのか？前代未聞の画業に、いま最も注目を集めるアーティストの一人、山口晃氏が挑みます。

葛飾北斎が手掛けた大ダルマ絵のパフォーマンスを踏まえつつ、平成の画狂人・山口晃氏ならではのパフォーマンスが展開されます!!

～現代の画狂人・山口晃、大ダルマを描く！～

- 主催：墨田区・すみだ北斎美術館、東京新聞
- パフォーマンス：2017年10月14日(土) 11時～16時予定、自由観覧
※時間は変更する可能性があります
※混雑時は入場制限する場合があります
- 作品展示日時：2017年10月16日(月)～10月22日(日)、午前9時～午後7時
- 展示会場：YKK60ビル1階アトリウム(墨田区亀沢3-22-1)
- 協力：YKK株式会社、YKK AP株式会社
- お問い合わせ先：すみだ北斎美術館 <http://hokusai-museum.jp/>
※詳細はHPでお知らせします

<すみだ北斎美術館について>

世界的な画家として評価の高い葛飾北斎は、宝暦10年(1760年)に本所割下水付近(現在の墨田区亀沢付近)で生まれ、90年の生涯のほとんどを墨田区内で過ごしなが、優れた作品を数多く残した。墨田区では、この郷土の偉大な芸術家である北斎を区民の誇りとして永く顕彰するとともに、地域の産業や観光へも寄与する地域活性化の拠点として、平成28年11月22日に「すみだ北斎美術館」を開設した。この美術館では、北斎及び門人の作品を紹介するほか、北斎と「すみだ」との関わりなどについてわかりやすく伝えていくため、展覧会をはじめ様々な普及事業を開催。そして、これらの事業活動を通じて国内外に向けて情報を発信し、北斎と「すみだ」の魅力をより一層高めていく。「北斎顕彰を通じて地域に愛着を深める場」「区民の生涯学習の場」「地域活性化の拠点(観光、産業への寄与)」「国内外に向けた情報発信と交流の場」を設置目的としている。※2017年4月29日に観覧者数20万人、9月8日に観覧者数30万人を達成

<現在開催中の特別展「大ダルマ制作200年記念 パフォーマー☆北斎～江戸と名古屋を駆ける～」について>

浮世絵師として世界的に有名な葛飾北斎は、実はパフォーマーとしても活躍していました。名古屋(西本願寺掛所)では、なんと120畳大の紙を使い大ダルマを描くパフォーマンスを開催したとされます。そこには、名古屋城下のにぎわいを利用し、自身の『北斎漫画』の宣伝を行った北斎の「パフォーマー」としての横顔がうかがえます。

本展では、こうした当時の北斎の行動が推察される作品群や資料、約150点を一挙公開します。

はたして北斎は人々の注目をどう集め、魅了したのか。江戸と名古屋の活気も感じていただきながら、お楽しみください。

【前期】9月9日(土)～10月1日(日) 【後期】10月3日(火)～10月22日(日) ※前後期で一部展示替えあり

【開館時間】午前9時半～午後5時半(入館は午後5時まで)

【観覧料】(個人)一般：1,200円、高校生・大学生：900円、65歳以上900円、中学生400円、障がい者400円

